

# 様式 2

## 平成20年度 第3回安曇野市放課後子どもプラン運営委員会 会議概要

1	審議会名	平成20年度第3回安曇野市放課後子どもプラン運営委員会
2	日 時	平成21年1月26日 午後7時から午後8時20まで
3	会 場	明科子どもと大人の交流学習施設
4	出席者	浅川会長、浅川委員、三好委員、河上委員、浅野委員、西村委員、熊井委員、塚田委員、山田委員、深澤委員、中田委員、中澤委員、滝沢委員、勝浦委員、高井委員、腰原委員、塩原委員、飯沼委員、松枝委員
5	市側出席者	川上社会教育指導員、高橋社会教育指導員、林社会教育指導員、山田生涯学習係長、高嶋生涯学習係長、猿田生涯学習係長、細萱生涯学習係、深澤生涯学習係、市川生涯学習係、熊井生涯学習係、堀井児童保育課児童係長、白澤児童保育課児童係、渋田見子ども支援係長、堀子ども支援係
6	公開	
7	傍聴人 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成20年2月1日
協 議 事 項 等		
<p>1、会議の概要</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) あいさつ</p> <p>(3) 議事</p> <p>①放課後子ども教室・放課後児童クラブの実施状況について</p> <p>②今後の課題</p> <p>ア 放課後子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅方法の再検討</li> <li>・実施時間の確保</li> <li>・活動場所の確保</li> </ul> <p>イ放課後児童クラブ</p> <p>③アンケート調査について</p> <p>ア 放課後子ども教室について</p> <p>イ 放課後児童クラブ</p> <p>④放課後子ども教室の多様な取り組みについて</p> <p>⑤その他</p> <p>(4) 閉会</p> <p>2、議事の概要</p> <p>(1) 放課後子ども教室・放課後児童クラブの実施状況について</p> <p>【各社会教育指導員より放課後子ども教室の現況の報告】</p> <p>【児童保育課より放課後児童クラブの現況の報告】</p> <p>(2) 今後の課題</p> <p>【事務局より放課後子ども教室の課題の提案】</p> <p>①帰宅方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊科地域では保護者等の完全お迎え制を実施。</li> <li>・明科地域ではお迎えもあり、集団帰宅、遠隔地についてはボランティアが見送っている。</li> <li>・穂高、三郷、堀金地域では通常の日の下校時刻に近い時間で終了し、通常の帰宅方法。</li> </ul> <p>事務局：穂高、三郷、堀金地域のように統一した帰宅方法を検討したい。ただし、豊科地域のように完全お迎えならば、遊ぶ時間が十分確保できるというメリットはある。</p> <p>②実施時間の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊科地域では通年5時まで遊ぶ時間が保障されるが、できればなるべく多くの方が参加できる方法を検討したい。その中で特に冬は下校が早くなるので学校との関係もあるが検討したい。</li> </ul> <p>③活動場所の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校により使用する場所が違っている。校庭、図書館等使用できる場所が多くなっている。地域もある。余裕教室の利用について、できるだけ施設の開放をお願いしたい。</li> </ul>		

委員：国が示している方針は社会教育が学校にお願いをするのではなく、学校もともに実施していただきたいという意味だと思うが…、しかも、国はなにもしないように感じる。実際に現場に携わっていただいている方は大変な思いで取り組まれている。

事務局：確かにおっしゃるとおりだが、安曇野市においては厚生労働省が所管する児童クラブ、文科省が所管するこの放課後子ども教室について調整、連携がとれている方だということもご承知おきいただきたい。

会長：昨年度に比べてだんだんと放課後子ども教室というのが認知されてきたと感じる。学校にもご理解をいただいている。

**【児童保育課長より児童クラブの課題の説明】**

- ・ 児童クラブと児童館の関係。児童館で本来おこなわれるべき自由来館が、児童クラブによって制限されてしまう。

(3) アンケート調査について

**【事務局よりアンケートの説明】**

- ・ 2月中に集計を考えている

委員：児童クラブ・児童館の設問について、来年4年生になる現在児童クラブに通っているお子さんの意見もきけるような設問がほしい。

(4) 放課後子ども教室の多様な取り組みについて

《腰原社会教育指導員の明科の取り組みについてプロジェクターで視聴》

事務局：文科省の考える放課後子ども教室の取り組みに近いと思う。あわてないが、無理をせずこのような形態にもっていったらと思う。